

# 建設リサイクルへの 理解と参画の促進

---



## 建設副産物リサイクル広報推進会議

建設副産物のリサイクルに関する普及啓発活動を推進するために、国や自治体、建設業・廃棄物処理業等の関係する機関が連携し、平成4年5月に設立された団体です。

建設工事の円滑な施工と資源の有効利用、廃棄物の発生抑制及び生活環境の保全を図るため、建設副産物のリサイクル推進に関わる多彩な広報活動を会員団体が連携して計画的かつ効率的に実施しています。

### 啓発活動・情報提供・広報活動

ホームページの運営  
リサイクル関連情報

機関誌の発行  
「建設リサイクル」

広報用ポスター  
の作成・販売

ニュースメール  
の配信

3R推進功労者等  
表彰の推薦

建設リサイクル  
実務講習会の開催

**3R月間行事の開催  
技術発表会・技術展示会**

リサイクル(3R)  
現場一般公開

出版物の発行  
啓発パネル貸出し

パンフレット・書籍、パネル

建設リサイクル技術発表会・技術展示会

建設副産物リサイクル広報推進会議の会員は、現在以下の33団体です。

- 北海道地方建設副産物対策連絡協議会
- 東北地方建設副産物対策連絡協議会
- 関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会
- 北陸地方建設副産物対策連絡協議会
- 中部地方建設副産物対策連絡協議会
- 建設副産物対策近畿地方連絡協議会
- 中国地方建設副産物対策連絡委員会
- 建設副産物対策四国地方連絡協議会
- 九州地方建設副産物対策連絡協議会
- 沖縄地方建設副産物対策連絡協議会
- 建設六団体副産物対策協議会

- (一社) 日本建設業連合会
- (一社) 全国建設業協会
- (一社) 日本建設業経営協会
- (一社) 全国中小建設業協会
- (一社) 日本道路建設業協会
- (一社) 日本建設機械施工協会
- (一財) 建設業振興基金
- (一財) 日本建設情報総合センター
- 建設廃棄物協同組合
- (一財) 経済調査会
- (一社) 建設コンサルタント協会

- (一財) 建設物価調査会
- (公財) 産業廃棄物処理事業振興財団
- (株) 建設資源広域利用センター
- (一社) 住宅生産団体連合会
- 東京建設廃材処理協同組合
- (一財) 土木研究センター
- (一社) 日本アスファルト合材協会
- (公財) 日本産業廃棄物処理振興センター
- (公社) 全国解体工事業団体連合会
- (公社) 全国産業廃棄物連合会
- (一財) 先端建設技術センター

**機関誌：建設リサイクル**  
 年4回発行 A4版 60頁程度  
 本体価格 1200円



**建設リサイクル広報用ポスター**  
 高速道路SA、外口駅構内、工事事務所  
 等に掲出



## 2016建設リサイクル技術発表会・技術展示会

会場：一橋大学 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内)



《写真提供》東京都港湾局

「建設リサイクルの新たなステージ」のキーワードは？

発生抑制、リユース、再生資材利用、レガシー・・・  
10月5日、2020年に向けた議論を**キックオフ!!**

初開催！大学生建設リサイクルワークショップ  
技術発表会では大学生のワークショップ報告も

**10月5日(水) 13:00~16:45**

2016建設リサイクル技術発表会 (一橋講堂)

特別講演：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻  
教授 野口 貴文氏

**10月5日(水)・6日(木)**

10:00~17:00 ・ 9:30~16:00

2016建設リサイクル技術展示会 (中会議場 2~4)

6日は 同一会場で国立研究開発法人土木研究所主催 「平成28年度土木研究所講演会」も開催



《写真提供》東京都建設再生土質利用センター

主催 建設副産物リサイクル広報推進会議 ・ 関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会  
後援 国土交通省 ・ 3R活動推進フォーラム

**キックオフ**  
**2020年**  
 日本の建設リサイクルは新たなステージへ  
 東京から全国そして世界へ発信

### 技術発表会 10月5日(水) 13:00~16:45

・技術発表会の聴講(無料)は事前申込みとさせていただきます。  
・申込みは、定員になり次第、締め切らせていただきます。

定員:500名 入場無料

- 12:30 開場・受付  
13:00 開会 開会挨拶：建設副産物リサイクル広報推進会議会長 北橋 建治  
(一般財団法人 先端建設技術センター 理事長)  
関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会 委員長 大西 亘  
(国土交通省関東地方整備局 局長)  
来賓挨拶：国土交通省大臣官房技術参事官 七條 牧生 氏  
13:10 特別講演 「建設材料の資源循環に関する現状・指針・提言 -建設リサイクルの是非と理想-」  
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 野口 貴文 氏  
14:00 技術発表：建設リサイクルへの取り組み工事の事例発表(発表順)  
鹿島建設 株式会社 / 株式会社 竹中工務店  
国土交通省四国地方整備局 高知河川国道事務所 / 株式会社 大林組  
14:40~14:50 《休憩》  
14:50 大学生建設リサイクルワークショップ報告(学生視点のアイデアなどを披露)  
15:05 パネルディスカッション  
パネリスト：内山 里映 氏 株式会社 大林組 東京本店八王子館シールドJV工事事務所専務  
(五十音順) 勝見 武 氏 京都大学大学院地球環境学 教授  
杉本 健一 氏 三井不動産 株式会社 社会・環境推進室長  
田中 里沙 氏 株式会社 宣伝会議 取締役  
野口 貴文 氏 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授  
コーディネーター：一般財団法人 先端建設技術センター 理事兼企画部長 吉田 延雄  
施策等報告：東京都都市整備局都市づくり政策部「東京都建設リサイクル推進計画」(仮題)  
16:35 技術展示表彰式  
16:45 閉会



建設リサイクル技術発表会は、下記の認定プログラムです。  
(公社)土木学会 技術推進機構 (一社)全国土木施工管理技士会連合会  
継続教育(CPD) 3.6単位(予定) 継続学習(CPDS) 4ユニット(予定)

### 技術展示会 10月5日(水) 10:00~17:00 / 10月6日(木) 9:30~16:00

技術展示会への入場(無料)は事前申込み不要です。どなたでも自由に入場できます。

入場無料

- 【出展団体】(五十音順)
- |                         |                       |                     |
|-------------------------|-----------------------|---------------------|
| 1 青木あすなる建設 株式会社         | 12 株式会社 竹中工務店         | 23 S.P.E.C. 株式会社    |
| 株式会社 グロスパートナーズ          | 13 株式会社 竹中道路          | 城南島エコ・リレーションセンター    |
| 2 安藤ハザマ                 | 14 株式会社 トウザキ          | 24 星揮 株式会社          |
| 3 石坂産業 株式会社             | 15 関東地方建設副産物          | 25 東急建設 株式会社        |
| 4 一般財団法人 日本建設情報総合センター   | 再利活用方策等連絡協議会          | 26 認定特定非営利活動法人      |
| 建設副産物情報センター             | 16 恵和興業 株式会社          | 全国木材資源リサイクル協会連合会    |
| 5 一般社団法人 泥土リサイクル協会      | 17 建設副産物リサイクル広報推進会議   | 27 ネットアップ工法研究会      |
| 6 一般社団法人 日本汚染土壌処理業協会    | 18 公益財団法人             | 28 パワーブレンダー工法協会     |
| 7 内田産業 株式会社             | 日本産業廃棄物処理振興センター       | 29 ポンテラン工法研究会       |
| 8 エポコラム協会               | 19 光洋機産業 株式会社         | 30 継商事 株式会社         |
| 9 回転式破砕混合工法研究会          | 20 五洋建設 株式会社          | 31 木材活用地盤対策研究会      |
| 10 株式会社 ウッドプラスチックテクノロジー | 21 清水建設 株式会社          | 32 八千代エンジニアリング 株式会社 |
| 11 株式会社 オクノコト           | 22 新日鉄住金エンジニアリング 株式会社 |                     |



・交流会への参加(会費制)は事前申込みとさせていただきます。  
・申込みは、定員になり次第、締め切らせていただきます。

### 交流会

一橋講堂 3F 食堂

10月5日(水) 17:00~18:00 ごろ

会費制

### アクセス

- 一橋大学 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内)
- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線  
神保町駅(A9出口) 徒歩4分
- 東京メトロ東西線 竹橋駅(1b出口) 徒歩4分

技術発表会参加(聴講)申込み・交流会参加申込み  
下記、ホームページよりお申込みください

事務局：建設副産物リサイクル広報推進会議  
一般財団法人 先端建設技術センター 企画部

TEL:03-3942-3991 / <http://www.suishinkaigi.jp/>



参加大学生：16名（京都大学、群馬大学、中央大学、東京大学、日本大学、明治大学）



国道357号東京港トンネル工事現場（建設汚泥が発生しているシールドトンネル工事現場を見学）



成友興業(株)城南島事業所（コンクリート塊からコンクリート用再生骨材Hを製造するプラントを見学）



東京都建設発生土再利用センター（建設発生土の仮置き場と土質改良プラントを見学）



## Bチーム ワークショップ報告： 再生製品を普及させるには？

### ワークショップ課題

Aチーム：建設発生土利用先のアイデア

Bチーム：建設汚泥の再生品利用先・再生品のアイデア

Cチーム：民間建築工事で再生骨材・コンクリート等再生資材の利用拡大のアイデア

1. **汚泥という名前を改変**（汚泥は基本水＋セメント＋土のみのため）
2. 建設汚泥の肥料化 例)造園資材
3. マスメディアによって再生品の安全性アピールと認知度アップを図る。
4. 建設汚泥発端の再生資源の製品を使用することで環境貢献度がたかまり、貢献度の分助成金が発生し企業に利益が生じる条例を制定。

## 1. 技術発表会・展示会

- ・2017年度は「けんせつフェア北陸in新潟」と同時開催予定
- ・2018年度は東京開催を視野に2017年度より検討予定

## 2. 海外向け情報発信(2017年度より)

- ①建設副産物リサイクル広報推進会議HP英語版開設
- ②海外向け「先進的な建設リサイクル取り組み・技術事例集」作成

## 3. 広報活動のより一層の推進(2017年度より)

- ①建設汚泥再生品利用拡大
  - ・建設汚泥の新たな呼称検討・普及
  - ・建設汚泥発生抑制・改良土利用促進広報資料作成
- ②機関誌「建設リサイクル」記事内容改編

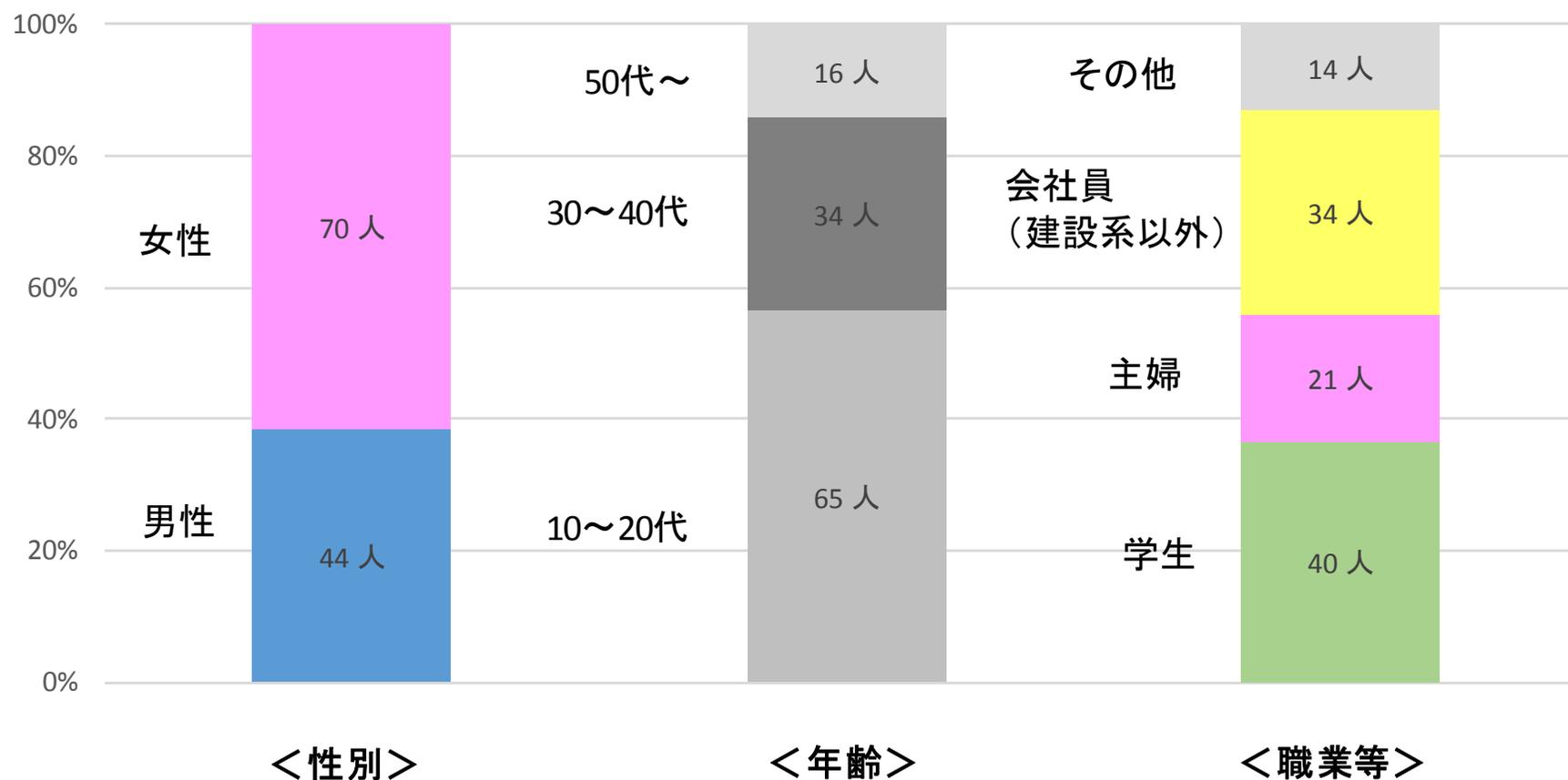
## ■アンケート調査の概要

調査実施期間：平成28年10月から12月

回答者数：115名

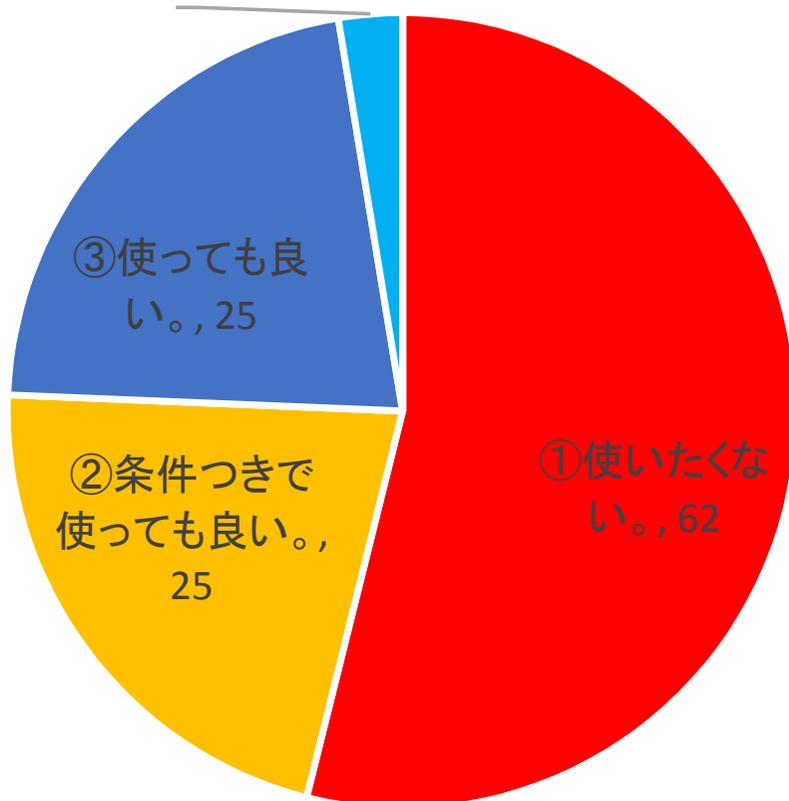
調査方法：調査票の配布・回収による調査

### <回答者>



## ■建設会社から、土地の造成に建設汚泥処理土を利用したいと提案があったとした場合の印象

④積極的に使いたい。、3

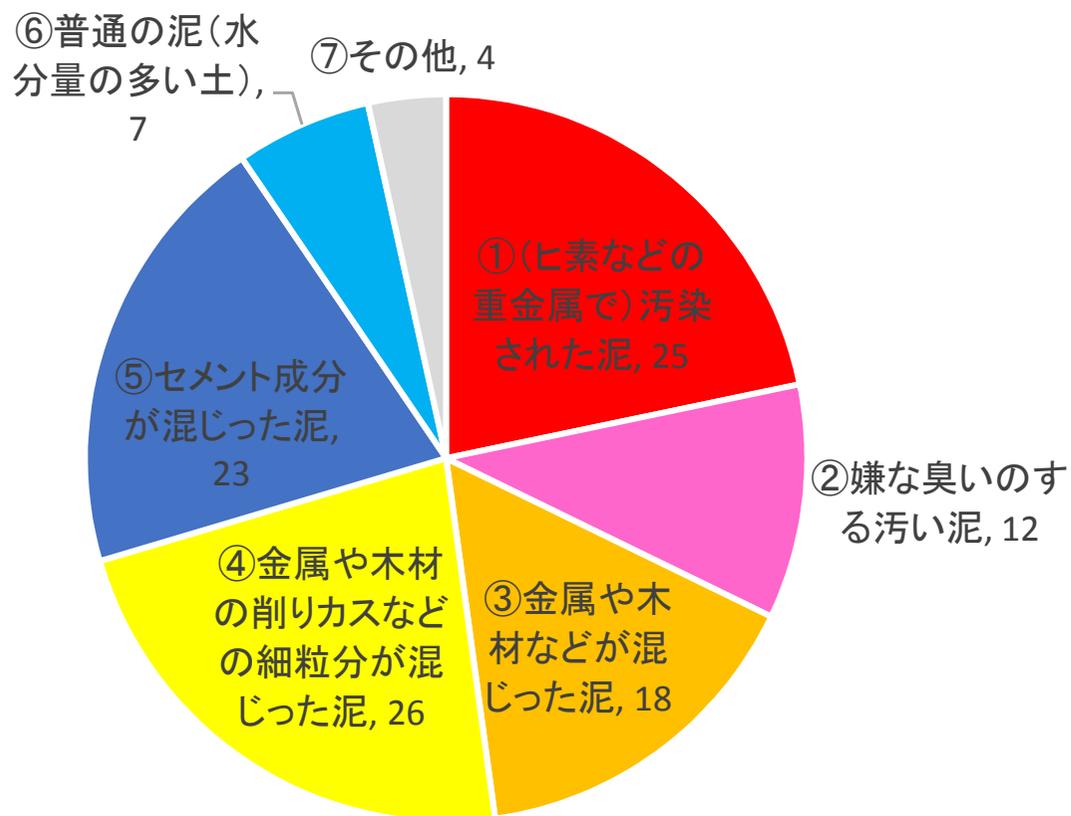


| 理由                        | 件数 |
|---------------------------|----|
| 不安                        | 6  |
| 将来への不安                    | 1  |
| なんとなくイヤ。                  | 1  |
| 色々と混ざっていそう。何が入っているかわからない。 | 3  |
| 気持ちわるい                    | 1  |
| 言葉のイメージが悪い                | 5  |
| イメージが悪い                   | 4  |
| 汚れているイメージ、汚いイメージ          | 5  |
| きれいな土を使用してほしい             | 1  |
| 汚染された感じ                   | 7  |
| 人体に害のある物質が含まれているおそれ       | 9  |
| 安全性に不安                    | 1  |
| 環境に悪いおそれ                  | 1  |
| 臭そうだから。                   | 1  |
| 弱そうだから。                   | 1  |
| しっかりと処理されているかわからない        | 1  |
| 汚泥や処理土が、どのようなものか、わからないから。 | 3  |
| わざわざ使う理由がない。              | 1  |
| 処理させられているイメージ             | 1  |

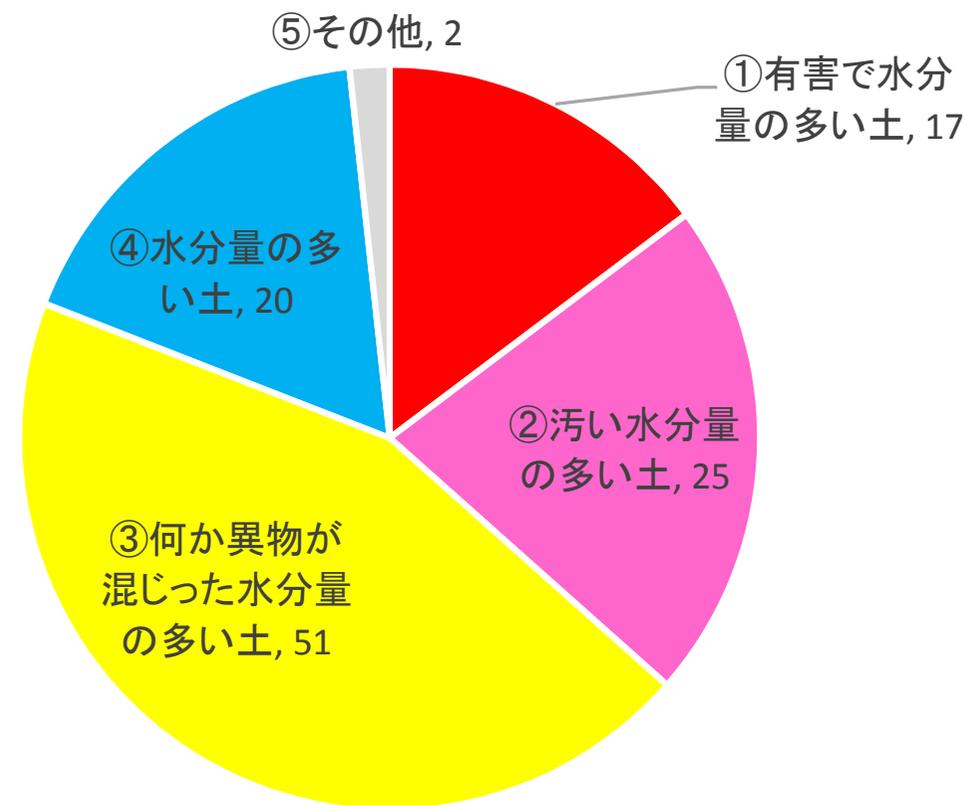
## ■言葉から受けるイメージ

(複数回答)

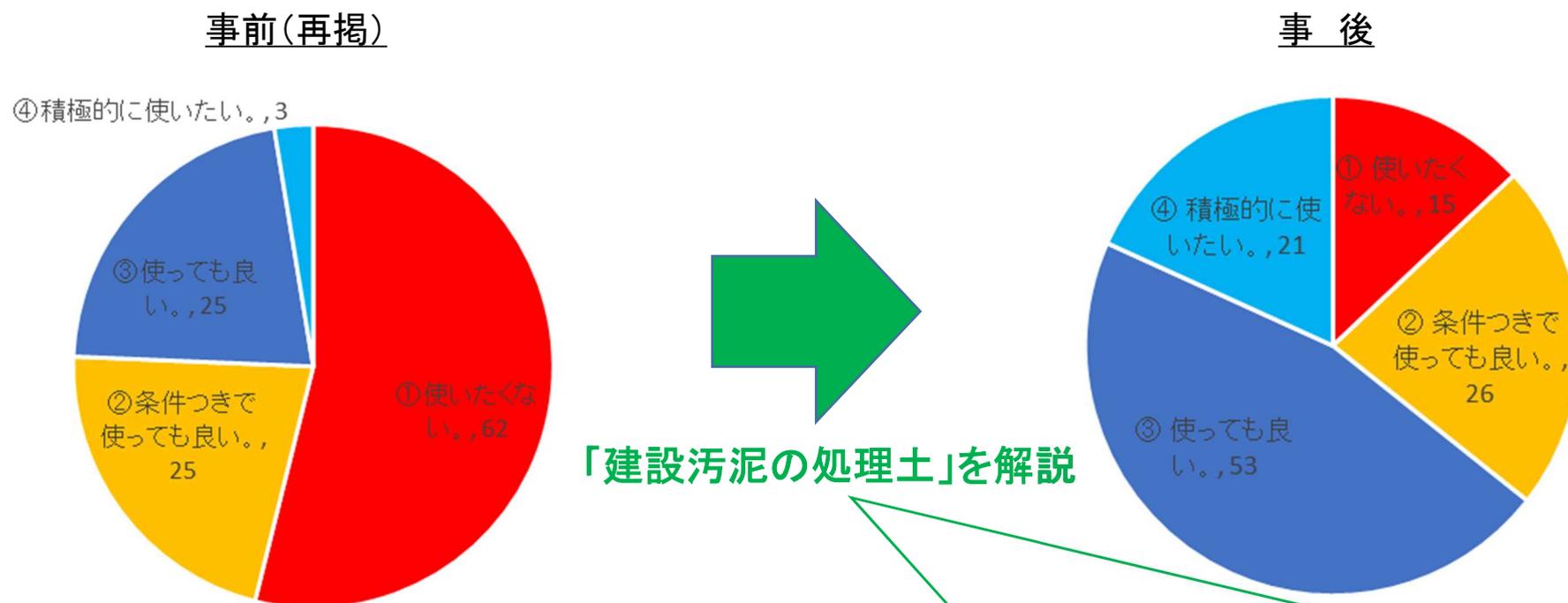
### 汚泥のイメージ



### 泥のイメージ



## ■ 解説による印象の変化



① 処理土の構成: 土と水、場合によっては、セメントや石灰(再利用のための処理をする際の固化剤)など

② 特徴:

高い強度を発揮する地震に強い土、出荷元(処理工場)がはっきりした土、有害なヒ素やフッ素などの重金属が混入する心配が少ない土、均質な土

③ 社会的な意義: 最終処分場の圧迫を和らげ、環境の保全に貢献

(再資源化施設によって適切な品質管理が行われている処理土を想定して解説)

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会では、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再資源化(リサイクル)に取り組み顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を毎年実施している。

## <表彰の概要>

主催：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

後援：財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

募集対象：循環型社会の形成に向け、3Rに率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等

審査委員会：審査委員長 東京大学名誉教授 木村文彦氏 他13名

## <平成28年度 国土交通大臣賞(7件)※>

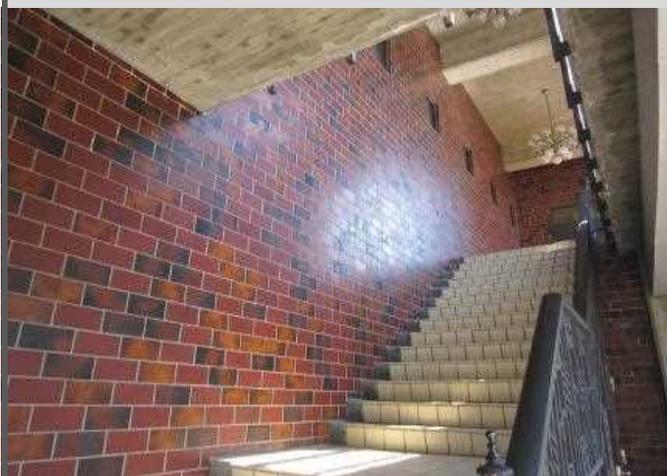
| 受賞者名  | 授賞テーマ                                    |
|---|--|
| 鹿島建設(株)・(株)大林組<br>東京外環自動車道 国分工事特定建設工事共同企業体                        | 大規模開削工事における設計及び施工段階における3Rの推進             |
| (株)大林組 大阪本店 淡路町3丁目工事事務所   | 建物特性、敷地特性を活かした3R活動                       |
| 357号東京港トンネル(その2)工事<br>大林・鹿島特定建設工事共同企業体                            | 環境負荷の小さいシールド工法の延長(開削トンネルの短縮)により発生土等を大幅削減 |
| (株)竹中工務店 東関東支店<br>東関東支店 ZEB 化改修工事                                 | 中規模改修工事での3R活動および「オール・ゼロ」の実現              |
| (株)竹中工務店 技術研究所+東京本店技術部  | 建設産廃タイルを再生するリユース技術「モルトール」の開発と3R活動への展開    |
| 阪神高速道路(株) 建設・更新事業本部 堺建設部<br>鹿島・飛鳥建設工事共同企業体<br>関西支店 大和川シールドJV工事事務所 | 大断面シールドトンネルの路下空間構築における掘削土有効活用・廃棄物排出削減    |
| 福岡市(福岡県 福岡市)  | 建設発生土の再利用について「福岡市建設発生土リサイクルプラント認定審査制度」   |

※平成26年度6件、平成27年度10件

●3Rを推進することで建築物の価値を高める事例

| 受賞者名                   | 授賞テーマ                                 |
|------------------------|---------------------------------------|
| (株)竹中工務店 技術研究所十東京本店技術部 | 建設産廃タイルを再生するリユース技術「モルトール」の開発と3R活動への展開 |

既存の意匠を  
継承したい



想い入れの強い建物

歴史的価値のある  
タイルを保存したい



歴史的建築物

張替による色違い  
を避けた



集合住宅・学校等  
の外壁維持保全